



園児も児童も共に育つ交流（事例）

小諸市には、6つの小学校と14の幼稚園・保育園・認定こども園があります。
それぞれの学校や園の立地条件（学校と園の距離、1つの小学校に入学する園の数など）は様々であり、実情に応じて園児と児童の交流を工夫しています。

1 学校や園の行事を活かして

音楽会や運動会などの行事に園児を招待し、一緒に活動する機会も設けています。また、園の行事に小学生が参加することもあります。

2 入学する小学校での1年生との交流～園児同士もなかよしに～

就学前の2～3月に入学する小学校で、1年生とその小学校へ入学する園児と一緒にゲームや学校探検、お店屋さんごっこ等により交流をしている園もあります。



- ★園児は、友だちと顔見知りになるとともに、早く学校に行きたいという入学への期待感が膨らみます。
- ★小学生は上級生になるという自覚が育ちます。

3 幼保小の連携を大切に交流会も行っています

○児童と園児の交流のほかに先生たちの勉強会も行い、小学校へのなめらかな接続を目指しています。
○幼稚園・保育園と小学校をお互いに訪問し、園児と一緒になわとびをしたり、ドッジボールをしたり、歌や合奏の発表をしています。

- ★園児は小学校（小学生）に親近感がもて、安心して学校生活を送れます。
- ★小学生は頼られる心地よさを感じ、自己肯定感が高められます。



- ★園児は、小学生の姿が具体的な目標になり、また、小学生が見守ってくれているので、できなかったこと（なわとびの二重回しなど）にも挑戦するようになります。
- ★小学生は、園児に分かりやすく伝えることを考えるので、自分たちの発表や園児との接し方に工夫が生まれます。
- ★小学生は、園の先生や園児にふれることを通して、自分の成長を自覚することができます。

4 家族でチャレンジ！ デジタルメディアコントロール（メディア全般、スマホ・ゲームなど）について一緒に考え、学校につなげていく活動を大切にしています。

お問い合わせ先：小諸市教育委員会事務局 学校教育課
Tel0267-22-1700（内線 2323）Eメール ksomu@city.komoro.nagano.jp

保護者の皆様へ

令和7年度（2025年度）版

もうすぐ小学1年生 学校生活について



小諸市 心を育てる「梅花の香りプラン」

だれでも

- ◆「ハイ」の返事でころよく
- ◆はき物を「そろえて」気持ちよく
- ◆背筋を「ピンと伸ばして」元気よく

世の中で

- ◆「ありがとう」感謝の心を大切に
- ◆「ルール」を守って誰もが安心
- ◆続けよう、地球を守る「エコ活動」
- ◆「汗を流して」健康づくり
- ◆大きな声で「おはよう」「こんにちは」「おやすみなさい」

家庭では

- ◆みんなで協力「お手伝い」
- ◆テレビを消して一家団らん「読書の日」
- ◆見直そう、わが家の生活「早寝・早起き・朝ごはん」
- ◆考えよう「ゲームやスマホの使い方」



小学校入学が近づいてくると、ワクワクとドキドキの両方の気持ちが出てくるのは、子どもだけでなく大人も同じではないでしょうか？

そんな気持ちに寄り添うために作ったのが、このリーフレットです。

開いてみてください。親子でホっとする内容が書いてあります。

小学校入学までの間、安心して過ごすために役立てていただければと思います。

小諸市幼児教育推進委員会・小諸市教育委員会



入学に向けてのお願い

学校の1日の生活（早寝早起き朝ご飯！）

起床	家を出る1時間前を目安に起きましょう。
登校	登校時刻は、7：30～8：10頃です。歩いて学校に通います。 集団登校のある学校では、決められた時間に決められた場所に集まります。集団登校のグループや集まる場所は、地域のPTAの方が決めてくれます。
授業	授業時間は45分です。
給食	給食を食べる時間は30分ほどです。
下校	給食が始まるまでは午前中（3時間授業）の下校です。 その後、学校の実情によって、午後2時頃の下校（4時間授業）になり、午後3時頃（5時間授業）の下校になっていきます。
交通安全	入学するまでに、交通ルールに気をつけながら、お家の方とお子さんと一緒に歩いてみましょう。危険な所は一緒に確認し、近付かないようにしましょう。
見守り隊	小学校単位で地域のボランティアによる見守り隊があり、交通安全や防犯のための活動をしています。
睡眠	小学生の望ましい睡眠時間は8～10時間です。小学校では、生活リズムを整える振り返りの期間を設けています。午後9時までには寝ましょう。

食事のお願い



給食を食べられないときは、先生に言ってね。

- 小諸市は全校が自校給食で、子どもたちにいろいろな味に親しんでほしいと願って作っています。自分が食べられる量や食べられないものをきちんと伝えるようにしておきましょう。また、学校でもアレルギー食の対応をしています。
- 家庭でも、最初からあきらめずに、嫌いなものも1口は食べてみるなどの工夫をしてみましょう。

いろいろな違いを持った子どもたちが共に生活をしています

- 幼稚園や保育園もそうですが、学校では配慮や支援を要する子、海外から日本に来ている子など、様々な違いをもった子どもたちが共に生活をしています。
- みんな、一人一人を大事にしながら生活をしています。



大丈夫かな？ 学校の生活Q&A

Q1

登校時刻は何時ですか？何時くらいに起こせばよいですか？
何時間授業で、下校時刻は何時ですか？

Q1は左ページの「学校の1日の生活」を
Q2は左ページの「食事のお願い」をご覧ください。

Q2

給食を食べる時間はどれ位ですか？
食べ物の好き嫌いがありますが大丈夫ですか？

Q3

「休み時間にトイレに行く」ことに慣れるまで、がまんできるか心配です

A

学校へ入学したばかりの頃は、15分から30分が一区分の学習になっており、区切りのときにトイレの声かけをします。また、徐々に一区分の学習時間を長くしていきますので、それまでの間に決められた時間にトイレに行くことに慣れることができます。

Q4

入学前に1年生の授業風景を見せてもらえますか？

A

可能です。事前に学校へ電話をお願いします。日程など、詳しくは学校と調整してください。

Q5

文字を読めたり書けたりしなければいけませんか？鉛筆の持ち方がよくないので心配です。

A

学校では、入学前に文字が読めたり書いたりできることを前提としていませんが、ロッカーや下駄箱などの自分の名前が読めると良いですね。幼稚園や保育園では、遊びの中で育つ好奇心や興味・関心を大切にしています。もし、お子さんが文字に興味をもったら、おうちの方と一緒に鉛筆の持ち方から始めましょう。鉛筆の持ち方は直しにくいので園でも大切にしています。

Q6

入学後、発達に不安があるとき、学校へ行きたくないと言っているとき、いじめにあっていると思ったとき、学習面に不安があるときなどは、誰に相談すればいいでしょうか？

A

連絡帳や電話でも大丈夫ですから学校の担任に相談しましょう。
健康に関することは養護教諭（保健室の先生）にも相談できます。
担任の先生以外にも、校長先生や教頭先生に相談することができます。
お子さんの発達等（落ち着きがない、こだわりが強い等）については、教育委員会事務局 学校教育課 教育総務係 0267-22-1700（内線2323）にも相談できます。

★園で工夫していること

- 自分たちで考えること、「やってみたい」という意欲を育てています。
- 異年齢で共に過ごす時間を設け、友だち同士の関わり合いの中から学び合い、育ち合いができるようにしています。
- 集中したり根気強く取り組んだり工夫したり、ときには我慢して先を見通しながら自分をコントロールして自己調整する力を付けています。
- 集団ゲームやルールのある遊び、話し合いの場を数多く設けて、年長の後半には共通の目的をもって友だちと遊びを進められるようにしています。
- 運動遊びを通じて得た満足感や達成感が自信や意欲につながり、それが日々の生活や他の活動に良い影響を及ぼす、「運動遊び事業」を実施・推進しています。

園だより、学校だよりの交換

滑らかな接続のために

保育体験・授業参観

- 入学当初は、集中できるように、15分から30分の授業を組み合わせています。
- わからないことがあるときは隣の席の友だちと話し合いながら学習を進める「ペア学習」を取り入れています。
- ゲーム形式の学習を取り入れ、楽しみながら学べるようにしています。
- 園で楽しんできた泥遊びや砂遊び、興味のある活動などを取り入れ、子どもたちの興味・関心に寄り添い、気付きや発見を大切に学習を進めています。
- 生活科や体育の授業などで、遊具遊びや友だちづくりのゲームなどを十分に行い、その中で新しい友だちとの人間関係づくりを行っています。多くの園から入学してくるので、園の友だちとふれ合えるように、学校によっては2クラス合同授業時間を設けています。

★学校で工夫していること